

# 新基地建設反対名護共同センターニュース

## 破たんが明らかになった防衛局の計画変更 北上田氏が「辺野古・工法変更の問題点」を講演

島ぐるみ会議やんばる地域連絡協議会は21日、沖縄平和市民連絡会の北上田毅氏（土木技師）を講師に「辺野古・工事計画変更案の概要と問題点」の学習会を名護市内で開催、約150人の県民が参加しました。

**県内の土砂調達に土砂条例回避と利権？**  
防衛局が年末、埋立用土砂の西日本各地からの購入計画を全て沖縄県内で調達する方針などに変更したこと、北上田氏は「県の土砂条例を回避することや県内事業者の利権が絡んでいる」と指摘。「環境への影響も無視し、ともかく工期短縮だけが目的の非現実的な工法だ」と批判。防衛局の工期・予算の変更は県が変更申請やサンゴの特別採捕許可や海砂採取の規制などで毅然と対応をした場合の遅れも考慮せず「希望」に過ぎない。県が「あらゆる手段」を行えば計画の破たんは明らかだ、と話しました。



北上田さん（円内）の講演に熱心に耳を傾ける会場いっぱいの参加者

工期短縮だけが目的の非現実的な工法

## 第3木曜のゲート前県民大行動に300人余



オール沖縄会議は16日、定例の第3木曜日のゲート前県民大行動を展開。県内各地の島ぐるみ会議などから延べ300人を超す県民が結集しました。「防衛局は違法工事を中止しろ！」「機動隊は違法工事に手を貸すな！」などとシュプレヒコールを繰り返し、時にはみんなで腕を組み、闘いの歌を合唱し、元気に抗議の声を上げ続けました。

**野党連立政権で新基地に終符を！**  
司会のヘリ基地反対協仲本興真事務局長は「県民の非暴力で粘り強い闘いが安倍政権を追い詰めている。防衛局は軟弱地盤問題などで八方ふさがりだ。安倍政権を倒し、野党連立政権の実現で新基地建設問題を終わりにさせよう」と訴えました。



### 春の運動で650人民商を！ 名護民商が新春の集い

名護民商は15日、新春の集いを約50人の会員が参加し開催。仲本興真会長が「春の運動で650人の会員にし、消費税を5%に減税させ営業を守ろう！民商会員も辺野古の現場へ駆けつけ、新基地建設を止めよう！」と訴えました。この後、手づくりのおでんや民謡を楽しみ、交流しました。



### 明るく闘っている「現場」を体験し励まされた 足立区議の後援会ツアーが学習と連帯行動

東京足立区・ぬかが和子区議（共）と後援会員9人が16日に名護共同センターで学習を行い、17日は抗議船で視察、辺野古ゲート前で座り込み、高江住民の会を激励訪問しました。共同センターでは具志堅徹元県議（写真）が、高江では伊佐真次東村議が歓迎の挨拶をしました。

共同センターでスタッフからパワーポイントで講演を受け、熱心に視聴しました。講演後、参加者から「県民の不屈のたたかいのドラマに感動しました」、「沖縄と足立区のたたかいはつながっていると感じた。連帯して頑張りたい」などの感想が寄せられました。

ゲート前では、機動隊のごぼう抜きも体験しました。ぬかが区議は「沖縄県民が、毎日こんなたたかいを明るく続けているなんて驚きです。4月には足立区の共産党区議団全員で再び訪問する予定です」と話していました。

